

# 南魚理センだより

令和8年5月21日発行

No. 2

南魚沼市学習指導センター

理科教育部

〒946-6680 南魚沼市六日町 865  
(学習指導センター内)

TEL 025(773)6702

FAX 025(773)6703

E-mail risen@minamiuonuma.ed.jp

## ＜理科センター「専門員」の紹介＞

「専門員」とは、南魚沼地域の自然（生物・地学・天文等）に関する専門的な知識・技能等を有し、理セン主催の研修会の講師を務めたり、管内小・中学校の生活科や理科、総合的な学習の時間の授業において、専門的な助言や指導をしたりすることができる専門スタッフのことです。

今年度も「南魚沼らしい理科教育」を実現するため、4名の専門員の方々から教員や児童生徒に指導をしていただきます。専門員の手配の仕方は次ページ末にあります（理科主任会の資料にも詳細がありますのでご参照ください）。以下、専門員の自己紹介です。



### 林 正栄先生

南魚沼市在住 元中学校教員  
得意分野 地学分野



小6年生の地層学習、中1年生の岩石学習を小林専門員とお手伝いします。地層学習は、後山・辻又川沿い（旧大和町）の地層を実際に観察し、地層を触ったり、採取したりして、そのつくりやでき方に気づき、大地の成り立ちを理解します。昨年度は、クマ騒動で中止となりましたが、今年度は実施できることを祈っています。実施の際は、多くの学校の参加を期待しています。

また、今年度は、研修講座（6月9日午後）で、地元の飯土火山の教材化を皆さんと探求します。小6年生の「地層学習」でも火山活動と火山灰の堆積を学習しますし、中1年生では火山活動と火成岩を学習しますので、「火山活動とはどんなものか」を認識するためにも、地元火山の活動を授業で取り上げてもらいたいと思います。先生方の多くのご参加をお待ちしています。

＜申込み〆切は過ぎましたがまだ受け付けますので、ご希望の方は理センにご連絡を！＞

今年度も、宜しくお願いします。



### 小林 民弥先生

南魚沼市在住 元小学校教員  
得意分野 生物・地学分野



冬は大雪でしたが晴れ間が続くこともあり、カメラ片手に魚野川を散策することもありました。その中での出会いは、野鳥ではタゲリ、タシギ、ハギマシユ、動物はタヌキ夫婦の日向ぼっこ、キツネの散歩でした。

歩いていると楽しい出会いがあります。4月は近所の柿の木でコゲラが樹皮をつついていました。畑のシャクヤクの畝にヒメリュウキンカの花を見つけました。どこからやってきたのか不思議です。散策しながら名前が分からないことをいつも残念に思っています。皆さんはいかがでしょう。色んなことに興味はありますが、深掘りはできていません。皆さんの進める学習活動に応援できることはやっていきます。よろしくお祈りします。

地層  
観  
察  
会





## 深澤 和基先生

南魚沼市在住 元高等学校教員

得意分野 森や川、池に棲む生物の観察指導  
スノーシューでの雪上トレッキング



今年も引き続き理科センターの専門員になりました深澤です。鳥類を中心に魚沼での観察や調査を行い、魚沼各地で行われる自然観察会のガイドも長年続けています。昨年は市内の小学校で探鳥会、水生生物の観察、森林の生物観察等をさせていただきました。虫を捕まえたり、花を見たり、木の実を取ったり、動物と出会ったりと魚沼の里山、里地はとも楽しいところです。

わざわざ遠くまで出かけなくとも、学校の近くでも、様々な生物を見ることができます。実際に採集したり、飼育したりすることで、教科書や本からだけではない知識や感覚を身につけることができます。生き物好きな子どもたちの能力を开花させ、身の回りにある不思議なことに自ら気づき、主体的に考えていける子どもたちが、一人でも多くなることを願っています。

森林の生物観察(小学校)



## 南雲 敏夫先生

十日町市在住

得意分野 天体観測 自然観察全般



山野を歩きながらの観察は色々と楽しいものです。まして子どもたちとの観察は最も楽しいと思っています。子どもは大人よりも視線が低いために大人が気づかない小さなものまで興味を示します。それもとても大切だと思っています。危険と言われる生き物でも指導員が丁寧に説明して、おもしろさを教えてあげれば子どもたちは興味津々となり怖さも無くなります。画像はアオダイショウの幼蛇ですが、子どもたちはマムシの模様にし少し似ているのでマムシだーって騒いでいましたが、「おとなしいアオダイショウの子どもだから心配ないよ」と言って手の上に乗せて見せたら、女の子たちが「かわいい」と何人かで手の平に乗せていました。このようにしっかりと安全を教えれば特に問題は無いし興味をもって接してくれますのでとても大事です。



逆にたいへん危険な生物もいます。左の写真はイラガの幼虫で小さな体に数百万本もの微細な毒針を持っており、うっかりと手で触れようものならたいへんな痛みを生じます。サクラやバラ、カキの木、クリの木など毎年同じような場所に発生します、一度見た場所には要注意です。簡単な事例ですがこういう観察から生き物の生態、あるいは危険があるかないかを子どもたちにしっかりと伝える事がこれからの野外活動において重要になってきます。

星空観察会



### <専門員派遣の手続き>

- ① 専門員の派遣を希望する学校は、所定の「専門員派遣伺い」を理センに提出してください。理センが専門員を決定し、派遣する専門員の名前と連絡先を当該校に伝えます。
- ② 学校は派遣される専門員と連絡を取り、事前打ち合わせを含む日程を調整した後に、所定の「専門員派遣申請」を理センに提出してください。
- ③ 専門員が派遣された後、学校は所定の「専門員派遣事後報告」を理センに提出してください。

\* 理科主任会で説明した内容です。提出はメール添付だと助かります。✉risen@minamiuonuma.ed.jp

\* 所定の用紙は、南魚沼市学習指導センターのホームページ内、理科センターのページにあります。南魚沼市立学校は共有データ(Y:02 常用 02 全学校共有 08 理科センター)からも入手できます。